

JIS

締結用部品の公差－ ボルト，小ねじ及びナット用の座金－ 部品等級 A，C 及び F

JIS B 1022 : 2018

(ISO 4759-3 : 2016)

(JFRI/JSA)

平成 30 年 9 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|--------------------------------|----------------------------------|
| (部会長) | 酒井 信介 | 横浜国立大学 |
| (委員) | 伊藤 弘 | 国立研究開発法人建築研究所 |
| | 宇治 公隆 | 首都大学東京 (公益社団法人土木学会) |
| | 大石 美奈子 | 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 |
| | 大瀧 雅寛 | お茶の水女子大学 |
| | 奥田 慶一郎 | 一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 |
| | 奥野 麻衣子 | 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 |
| | 金丸 淳子 | 公益財団法人共用品推進機構 |
| | 鎌田 実 | 東京大学 |
| | 河村 真紀子 | 主婦連合会 |
| | 佐伯 洋 | 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 |
| | 椎名 武夫 | 千葉大学 |
| | 高田 祥三 | 早稲田大学 |
| | 高増 潔 | 東京大学 |
| | 千葉 光一 | 関西学院大学 |
| | 寺澤 富雄 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟 |
| | 長井 寿 | 国立研究開発法人物質・材料研究機構 |
| | 長田 三紀 | 全国地域婦人団体連絡協議会 |
| | 奈良 広一 | 独立行政法人製品評価技術基盤機構 |
| | 西江 勇二 | 一般財団法人研友社 |
| | 福田 泰和 | 一般財団法人日本規格協会 |
| 榎 徹雄 | 東京都市大学 | |
| 三谷 泰久 | 一般財団法人日本船舶技術研究協会 | |
| 棟近 雅彦 | 早稲田大学 | |
| 村垣 善浩 | 東京女子医科大学 | |
| 山内 正剛 | 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 | |
| 和辻 健二 | 一般社団法人日本自動車工業会 | |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 64.1.1 改正：平成 30.9.20

官 報 公 示：平成 30.9.20

原 案 作 成 者：日本ねじ研究協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3436-4988)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|---------------------------------|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 記号及び意味 | 2 |
| 4 公差 | 2 |
| 附属書 A (参考) 公差 | 7 |
| 附属書 JA (参考) 特性値の測定方法 (一例) | 9 |
| 解 説 | 12 |

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ねじ研究協会 (JFRI) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 1022:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

締結用部品の公差— ボルト，小ねじ及びナット用の座金— 部品等級 A，C 及び F

Tolerances for fasteners—Washers for bolts, screws and nuts— Product grades A, C and F

序文

この規格は、2016年に第4版として発行された **ISO 4759-3** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、参考として記載した**附属書 JA** は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、ねじの呼び径 1 mm～150 mm の一般用のボルト，小ねじ，植込みボルト及びナットに用いる平座金に対する部品等級 A，C 及び F の公差について規定する。

この規格は、平座金以外の座金に対しても適用してもよいが、それらの座金に関わる公差全てを含むものではない。

この規格は、座金組込みねじ用の平座金に対しても適用し、さらに、規格化していない座金に対しても適用してよい。ただし、皿ばね座金には適用しない。

部品等級 F 及び A の座金は、部品等級 A 及び B のボルト，小ねじ，植込みボルト及びナット用に、部品等級 C の座金は、部品等級 C のボルト，小ねじ，植込みボルト及びナット用に設定されたものである。

注記 1 部品等級は、寸法及び幾何特性に関連した特定の公差の大きさを示す（公差が、小さい場合を部品等級 F，中程度の場合を部品等級 A，大きい場合を部品等級 C とする。）。

注記 2 **附属書 A** に、**JIS B 0401-1:1998** 及び **JIS B 0401-2:1998** に規定する公差に関わる数値を示す。

注記 3 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 4759-3:2016, Tolerances for fasteners—Part 3: Washers for bolts, screws and nuts—Product grades A, C and F (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0021 製品の幾何特性仕様（GPS）—幾何公差表示方式—形状，姿勢，位置及び振れの公差表示